

評 価 基 準

1 評価項目等

評価項目、評価内容、評価点は以下のとおりとする。（400点満点）

評価項目	評価内容	評価点	
		配点	小計
(1) 企業評価	①企業の設計実績に対する内容	15	30
	②企業の施工実績に対する内容	15	
(2) 配置予定技術者評価	①管理技術者の実績に対する内容	15	30
	②監理技術者の実績に対する内容	15	
(3) 駐車台数の評価	駐車台数に対する内容	20	20
(4) 立体駐車場の構造に関する提案評価	①ユニバーサルデザインに対する内容	15	70
	②維持管理に対する内容	15	
	③防犯、安全設備に対する内容	15	
	④外観に対する内容	10	
	⑤災害、浸水等に対する内容	15	
(5) 工程・施工管理等に関する提案評価	①工程の妥当性、短縮に対する内容	15	45
	②事業実施に係るリスク管理内容	15	
	③業務の遂行に向けた管理体制内容	15	
(6) 動線計画に関する提案	①自動車動線に対する内容	10	30
	②歩行者動線に対する内容	10	
	③案内表示に対する内容	10	
(7) 周辺対策に関する提案	工事中の安全対策、騒音、振動、粉塵などに対する内容	20	20
(8) 地域貢献への評価	県内企業の登用など地域の経済・産業を取り込む提案の有無	25	25
(9) 独自提案	(4)～(8)までの評価項目以外で立体駐車場の価値を向上させる創意工夫や付加価値提案の有無	25	25
(10) 総合評価	取り組み意欲、業務の理解度	25	25
(11) 概算事業費	配点×(全見積額中最も低い見積額)÷(当該応募者の見積額)	80	80
計			400

評価の着目点

※的確性：与条件との整合性が取れているか等

※創意性：工学的知見に基づく創意工夫がされているか等

※実現性：提案内容が理論的に裏付けられており、説得力があるか等

2 採点の基準

評価項目（１）～（３）および（１１）については、それぞれ定める算定方法により評価点を算出する。

評価項目（４）～（１０）については、評価項目ごとの評価の視点に基づいて、審査員において提案内容を審査し、以下に示す判断基準により評価点を付与する。

評価	評価内容	採点基準
A	極めて高い	配点×1.00
B	高い	配点×0.75
C	普通	配点×0.50
D	やや低い	配点×0.25
E	低い	配点×0.00

3 評価の算出

（１）企業評価【30点】

①企業の設計実績に対する内容【15点】

平成22年4月1日以降に元請として行った建築物の新築・改築・増築の設計実績（最大3件）について、下記により評価する。なお、複数の設計企業が参加する場合は、当該設計企業のうち該当する実績があれば評価対象とする。（過去の共同企業体の構成員としての実績は、出資比率20%以上のものに限る。）

判断基準	配点	得点
延床面積4000㎡以上かつ4階建て以上	5	/15点
延床面積3500㎡以上4000㎡未満かつ4階建て以上	4	
延床面積3000㎡以上3500㎡未満かつ4階建て以上	3	
延床面積2500㎡以上3000㎡未満かつ4階建て以上	1	
上記に該当しない場合	0	

②企業の施工実績に対する内容【15点】

平成22年4月1日以降に元請として行った建築物の新築・改築・増築の施工実績（最大3件）について、下記により評価する。なお、当該実績は個別共同企業体のうち代表構成員が有するものののみ評価対象とする。（共同企業体の構成員としての実績は、出資比率20%以上のものに限

判断基準	配点	得点
延床面積4000㎡以上かつ4階建て以上	5	/15点
延床面積3500㎡以上4000㎡未満かつ4階建て以上	4	
延床面積3000㎡以上3500㎡未満かつ4階建て以上	3	
延床面積2500㎡以上3000㎡未満かつ4階建て以上	1	
上記に該当しない場合	0	

(2) 配置予定技術者評価【30点】

①設計業務における立場での実績（評価対象：拡大共同企業体のうち設計企業のみ）【15点】

平成22年4月1日以降に元請として行った建築物の新築・改築・増築の設計実績（最大3件）について、下記により評価する。なお配置予定技術者は、最大3名まで申請できるが、複数申請する場合には、提出された実績評価のうち最も低い者の評価を採用する。（共同企業体の構成員としての実績は、出資比率20%以上のものに限る。）

評定項目		判断基準	配点	得点
管理技術者	実績	延床面積4000㎡以上かつ4階建て以上	5	/15点
		延床面積3500㎡以上4000㎡未満かつ4階建て以上	4	
		延床面積3000㎡以上3500㎡未満かつ4階建て以上	3	
		延床面積2500㎡以上3000㎡未満かつ4階建て以上	1	
		上記に該当しない場合	0	

②建設業務における立場での実績（評価対象：個別共同企業体のうち代表構成員のみ）【15点】

平成22年4月1日以降に元請として行った建築物の新築・改築・増築の施工実績（最大3件）について、下記により評価する。なお配置予定技術者は、最大3名まで申請できるが、複数申請する場合には、提出された実績評価のうち最も低い者の評価を採用する。（共同企業体の構成員としての実績は、出資比率20%以上のものに限る。）

監理技術者	実績	延床面積4000㎡以上かつ4階建て以上	5	/15点
		延床面積3500㎡以上4000㎡未満かつ4階建て以上	4	
		延床面積3000㎡以上3500㎡未満かつ4階建て以上	3	
		延床面積2500㎡以上3000㎡未満かつ4階建て以上	1	
		上記に該当しない場合	0	

(3) 駐車台数の評価【20点】

提出された技術提案内容を踏まえ、判断を行う。

駐車台数	配点
210台	10点
211台以上	1点/台

駐車台数の評価点＝配点×(提案台数-210)+10

ただし、駐車台数の評価点の最大を20点とする。

提出された技術提案内容を踏まえ、委員により総合的に評価する。

評価項目		各委員の評価（配点）					得点
①ユニバーサルデザインに対する内容	評価基準	A	B	C	D	E	/15点
	的確性	極めて高い	高い	普通	やや低い	低い	
	創意性 実現性						
②維持管理に対する内容	評価基準	A	B	C	D	E	/15点
	的確性	極めて高い	高い	普通	やや低い	低い	
	創意性 実現性						
③防犯、安全設備に対する内容	評価基準	A	B	C	D	E	/15点
	的確性	極めて高い	高い	普通	やや低い	低い	
	創意性 実現性						
④外観に対する内容	評価基準	A	B	C	D	E	/10点
	的確性	極めて高い	高い	普通	やや低い	低い	
	創意性 実現性						
⑤災害、浸水等に対する内容	評価基準	A	B	C	D	E	/15点
	的確性	極めて高い	高い	普通	やや低い	低い	
	創意性 実現性						
計							/70点

提出された技術提案内容を踏まえ、委員により総合的に評価する。

評価項目		各委員の評価（配点）					得点
①工程の妥当性、 短縮に対する内容	評価基準	A	B	C	D	E	/15点
	的確性	極めて 高い	高い	普通	やや 低い	低い	
	創意性 実現性						
②事業実施に係る リスク管理内容	評価基準	A	B	C	D	E	/15点
	的確性	極めて 高い	高い	普通	やや 低い	低い	
	創意性 実現性						
③業務の遂行に向け た管理体制内容	評価基準	A	B	C	D	E	/15点
	的確性	極めて 高い	高い	普通	やや 低い	低い	
	創意性 実現性						
計							/45点

提出された技術提案内容を踏まえ、委員により総合的に評価する。

評価項目		各委員の評価（配点）					得点
①自動車動線に対する内容	評価基準	A	B	C	D	E	/10点
	的確性	極めて高い	高い	普通	やや低い	低い	
	創意性 実現性						
②歩行者動線に対する内容	評価基準	A	B	C	D	E	/10点
	的確性	極めて高い	高い	普通	やや低い	低い	
	創意性 実現性						
③案内表示に対する内容	評価基準	A	B	C	D	E	/10点
	的確性	極めて高い	高い	普通	やや低い	低い	
	創意性 実現性						
計							/30点

提出された技術提案内容を踏まえ、委員により総合的に評価する。

評価項目		各委員の評価（配点）					得点
工事中の安全対策、騒音、振動、粉塵などに対する内容	評価基準	A	B	C	D	E	/20点
	的確性 創意性 実現性	極めて高い	高い	普通	やや低い	低い	

提出された業務実施体制調書（様式4）の内容を踏まえ、委員により総合的に評価する。

評価項目		各委員の評価（配点）					得点
県内企業の登用など地域の経済・産業を取り込む提案の有無	評価基準	A	B	C	D	E	/25点
	的確性 創意性 実現性	極めて高い	高い	普通	やや低い	低い	

提出された技術提案内容を踏まえ、委員により総合的に評価する。

評価項目		各委員の評価（配点）					得点
品質関係	評価基準	A	B	C	D	E	/25点
安全衛生関係	的確性	極めて 高い	高い	普通	やや 低い	低い	
施工管理関係等への	創意性						
創意工夫の有無	実現性						

(1 0) 総合評価【25点】

提出された技術提案内容を踏まえ、委員により総合的に評価する。

評定項目		各委員の評価（配点）					得点
取り組み意欲 業務の理解度	評価基準	A	B	C	D	E	/25点
	的確性 創意性 実現性	極めて 高い	高い	普通	やや 低い	低い	

(1 1) 概算事業費の評価【80 点】

提出された見積書の見積額より採点

評価点の算出に当たっての算定式は、以下のとおり。

評価点は、小数点第 2 位を四捨五入して求めるものとする。

概算事業費の評価点 = 配点 × (全提案中最も低い見積額) ÷ (当該応募者の見積額)